

MITトレーナー認定を 取得して

さかいリハ訪問看護ステーション
中山 敦子



はじめに MIT-Jとは

メロディやリズムなどの音楽的要素を用いてブローカ失語症患者の発話機能改善を促進するリハビリ技法、Melodic Intonation Therapy (メロディック・イントネーション・セラピー) の日本語版のことをMIT-Jといいます。左半球損傷によって引き起こされる「失語症」を音楽的要素を処理する右半球を賦活させることでスムーズな発話を引き出すという、アメリカで開発された有効性のある治療法が元となっており、日本では関啓子先生が開発されました。

今回、関先生が会長を務める日本MIT協会によって新しく資格化されたMITトレーナーの実地研修を受け、資格取得する機会が得られたので、この認定資格や実際にMITを実施した様子などをご紹介します。

日本MIT協会認定資格

認定資格には下記の2種類があります。

①MITアンバサダー (一般向け・基礎)

失語症患者のご家族や当事者など、失語症を始めとする高次脳機能障害全般について正しい理解を深める。

②MITトレーナー (医療従事者向け・応用)

MIT-Jの技法を習得し、医療・福祉現場で失語症患者に対し、MIT-Jを正しい方法で実践する。

MITトレーナー認定資格取得までの流れ

- ①リハノメ動画視聴
- ②事務局への申請と事務手数料の支払い
- ③実地研修の参加 (ペーパー・実技テストあり)
- ④認定証書、認定カードの発行・郵送

まず、PT・OT・STのための動画配信サービス「リハノメ」でMITオンラインセミナーを視聴し、事務局に申請、後日実地研修を受けます。2日間の実地研修では講師による指導を受けながら参加者同士で練習し、正しいMITの技法を習得することが出来ます。テスト合格後トレーナーとして認定され、臨床現場でMITを実践することが可能となります。(詳しくは日本MIT協会HP参照 <https://japan-mit.com/>)



今後の抱負

私は認定取得後、現在従事している訪問リハビリで重度ブローカ失語の利用者様に対してMITを実践しています。週1回1時間の実施で今まで困難だった単語の復唱がスムーズに引き出される様子を確認し、この技法に手ごたえを感じています。今後もMITを失語症の治療の一つとして積極的に取り入れ、粘り強く失語症の改善を目指したい、また、多くの方にこの技法の良さを伝えていきたいと思っております。

